



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 宮原良治
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

5月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【福音宣教】信徒の使命
【日本の教会】子どもの貧困の解消

美野島司牧センター 落成祝福式
人の命をまもる前線基地の教会

4月7日（土）、福岡市博多区美野島に再建築された「美野島司牧センター」（センター長＝マルセル・コース神父（パリ外国宣教会））の落成祝福式が福岡教区長宮原良治司教司式で執り行われた。美野島司牧センターを拠点に活動する団体の関係者、近隣の教会の信者、工事関係者ら約50人が参加した。新築祝賀式は5月13日（日）、午前11時から同センターで行われる。



2018年4月に落成した美野島司牧センター

落成祝福式は1階の聖堂で行われた。聖堂は集会室にもなる作りとなっており、普段は炊き出しなどの活動が行われている。

祝福式の導入で、宮原司教

聖書の言葉を聴き、共同祈願を捧げた後、各部屋が聖水



センターにて炊き出しの屋敷を食べる人々

によって祝福された。

センター長のコース神父は、教皇フランシスコの言葉「教会は周辺に向かい、大きく扉を開いて、野戦病院のようにならなければならない」を引用し、これからのこの精

神で活動が続けたいと語る。また、教派や宗派を超えて、それぞれのイデオロギーを持ちつつも、「小さな人たちを愛し、共に歩みたい」との同じ志で活動が続けられていることにも触れた。また

コース神父は「このセンター再建築されたセンターは2棟の建物からなり、聖堂兼集会所、活動団体の事務所、宿泊所、台所などが備えられている。建替え中は近隣の公園で行われていた炊き出しも、

再建築されたセンターは2棟の建物からなり、聖堂兼集会所、活動団体の事務所、宿泊所、台所などが備えられている。建替え中は近隣の公園で行われていた炊き出しも、

宮原司教 福岡教区長着座10周年

神の現存をあらわす神殿

4月13日（金）、カテドラル大名町教会で福岡教区司教座教会（カテドラル）献堂記念日のミサが宮原良治司教主

式で捧げられた。

ミサの聖書朗読は「神殿」にまつわるもの（第1朗読Ⅱエゼキエル書47章1〜2、8〜9、12節、第2朗読Ⅱコリントの信徒への手紙一3章9c〜11、16〜17節、福音朗読Ⅱヨハネによる福音書2章13〜22節）が朗読された。

説教で宮原司教は、神殿の歴史を紐解き、神の現存をあらわす神殿の役割を確認。福岡教区のカテドラルも神の愛を見える形で表す場となることを望むと語った。また、司教と司祭団の協力のもと、神の民が教区目標「神のいつくしみをさらに生き、広めよう」を実践できるよう、ペトロの取次ぎを求め、祈りましょう。

時の話題

Dare to Live
キリストを生きぬく

「聖なるものとなってください。」教皇フランシスコは、現代世界における聖性への招きに関する使徒的勧告『ガウデーテ・エト・エクスルターテ』を発表するとともに、ツイッターでこう呼びかけた。結婚してあれば結婚生活で、親・祖父母であれば子どもたちを養育するなかで、労働者であれば誠実さと技能をもって人々の為に働くことによって、また、権威ある立場にあれば共通善のために働くことによって、「聖なるもの」となっていく。

この聖性への招きは、信徒の召命と使命を考える上で、重要な要素となる。犬養道子著の『生ける石・信徒神学』の序文でイヴ・M・コンガールは「この世の、諸機構と一切の活動の中で、キリストを生きぬく者という、信徒の特性に、われわれは眼をつぶるわけにはゆかぬ」と述べる。「キリストを生きぬく」とは、キリストの教えを守って生きる、ということとは少し異なるように思う。「キリストを生きぬく」とは、キリストの命を私の肉の器に受肉させるような生き方だと考える。女性であり、日本人であり、社会人であり、傷つきやすくも明朗な一面をもつ、そして罪人である、この私の肉

の器に、キリストの命が息づくことを受諾し、命の泉を溢れるままにさせる。その時、社会や教会の諸問題に対し、「創造性を発揮して立ち向かい、固有の使命を全うすることができよう」ように思う。（参照：教皇の5月の祈りの意向「信徒の使命」）犬養氏は同書のあとがきで、自身の召命と使命についてコンガールと交わした会話を記している。なぜこのような書を自分が、と戸惑い自問する犬養氏に、コンガールは語った。「神は、塵からさえも預言者を呼び出し、立たせられる。勇気を出さない。応えなさい。」

一人の先生が園庭の掃除をするために倉庫からほうきを取り出し、掃きだした。突然、カラスが鳴き、先生の背後を襲った。恐怖におののいた先生はばったり倒れてしまった。もう一人は自分のほうきでカラスに立ち向かい、追い払った。二人が少し離れた所からカラスの動きを見ていると、先程のカラスが倉庫の上から頭を上下に振りながら何かを促していた。その先を見ようと、何と、ひなが地上を歩く練習をしていたのだ。親鳥は「頑張れ！頑張れ！」と言わんばかりに首を振っていたのである。その時に二人は気づいた。「親鳥はひなを守るために、命がけで人を攻撃したのだ」と▼子孫を作り、守るという種の保存は生き物の本能からくるのであろうが、親が子を大切に育てる姿には感動を覚える。まさに、命の大切さを教えてくれるのだ。生き物の世界を描く映像からもよく伺え、くぎ付けになってしまう▼人の世界ではいかがなものか。もちろん、青春のすべてをかけて我が子をつくくしむ親がほとんどだが、中には、何らかの理由を付けられ、お腹の子が抹殺される。生きようとする赤ちゃんが置き去りにされるなど、愛の温かさを逸してしまう場面を見聞きする▼親になったら、今まで生きて来られたのは親や関わってくれた人達のお陰、支え導いてくださった神のお陰であることに感謝し、我が子にもそれを伝えていくことが大事▼今日の一日、神の似姿としての自分の振舞いを振り返ることは相応しく、正しいこと。全てを創り、全てに生きる力を与え、全てを知っておられる神に聴こう。（S）



復活徹夜祭でろうそくを手に、洗礼の約束の更新をする会衆

復活徹夜祭に教区内で74人受洗

3月31日（土）、カテドラル大名町教会では宮原良治司教主式で復活徹夜祭のミサが捧げられた。

説教で宮原司教は「救い主イエス・キリストは真に復活した」と力強く述べ、洗礼を通して復活の命にあずかる喜び、そしてキリストの光を周囲に証していく教会共同体の営みについて説いた。

新しく洗礼を受けた人と共に、全ての信者が復活のろうそくから光を受け、洗礼の約束の更新を行った。

福岡教区内で復活徹夜祭と復活の主日に洗礼を受けた人は74人（内、幼児洗礼が17人）。

復活徹夜祭でろうそくを手に、洗礼の約束の更新をする会衆

福岡教区 現勢報告 2017年(2017年1月～12月)

教会名	在籍信徒数			不明	死亡	洗礼		ミサ参加者数		
	男	女	合計			幼児	成人	主日	復活祭	降誕祭
1 糸 島	205	242	447	41	1	1	1	115	226	270
2 大 楠	150	215	365	38	3	0	2	95	160	250
3 古 賀	426	533	959	137	5	8	4	232	361	471
4 笹 丘	328	481	809	7	13	6	9	230	300	450
5 浄水通	237	366	603	129	1	4	9	140	230	400
6 大名町	651	1,057	1,708	400	20	6	4	500	1,000	1,800
7 高 宮	246	353	599	71	2	4	11	130	250	250
8 茶 山	149	179	328	0	6	0	0	93	185	178
9 西 新	528	784	1,312	0	8	3	1	300	350	550
10 箱 崎	147	183	330	10	6	4	9	120	200	220
11 光 丘	494	593	1,087	297	6	2	0	220	450	550
12 吉 塚	215	299	514	75	3	9	2	150	280	260
13 老 司	186	218	404	35	5	0	2	70	150	200
福岡地区計	3,962	5,503	9,465	1,240	79	47	54	2,395	4,142	5,849
14 今 村	392	512	904	0	18	1	1	350	500	505
15 大牟田	144	240	384	31	2	0	3	80	140	190
16 小 郡	178	276	454	0	4	5	3	150	250	250
17 久留米	521	712	1,233	104	15	4	10	360	370	630
18 二日市	228	314	542	47	5	3	1	200	300	450
19 本 郷	288	355	643	0	11	1	0	110	300	270
筑後地区計	1,751	2,409	4,160	182	55	14	18	1,250	1,860	2,295
20 飯 塚	131	159	290	0	2	1	6	70	100	100
21 黒 崎	362	509	871	121	10	0	2	210	350	400
22 小 倉	1,007	1,447	2,454	519	19	2	2	300	400	750
23 新田原	723	802	1,525	136	24	2	2	430	621	583
24 田 川	36	60	96	29	0	0	0	25	40	65
25 天神町	75	133	208	23	7	0	0	75	100	160
26 戸 畑	180	263	443	0	3	0	2	115	180	285
27 直 方	107	92	199	23	2	3	0	65	70	80
28 水 巻	332	412	744	114	7	2	1	119	261	263
29 門 司	135	211	346	129	5	0	1	85	110	120
30 湯 川	519	609	1,128	158	20	2	2	160	320	470
31 行 橋	412	454	866	49	7	6	2	230	300	400
32 若 松	103	157	260	0	1	1	0	70	140	200
北九州地区計	4,122	5,308	9,430	1,301	107	19	20	1,954	2,992	3,876
福岡県合計	9,835	13,220	23,055	2,723	241	80	92	5,599	8,994	12,020
1 伊万里	128	163	291	62	1	1	0	80	150	180
2 鹿 島	27	28	55	0	0	0	1	20	30	50
3 唐 津	184	200	384	68	2	0	1	50	100	200
4 佐 賀	265	419	684	100	8	1	6	120	230	350
5 多久	56	68	124	0	0	0	0	15	30	0
6 武 雄	28	38	66	0	0	0	0	20	24	75
7 鳥 栖	148	223	371	0	1	0	0	80	160	250
8 馬渡島	79	79	158	61	3	0	0	80	100	110
9 呼 子	209	210	419	0	3	1	0	90	100	150
佐賀県合計	1,124	1,428	2,552	291	18	3	8	555	924	1,365
1 荒 尾	35	74	109	13	1	0	0	30	40	72
2 大 江	102	179	281	0	5	1	1	55	140	145
3 蒂 山	111	134	245	38	1	0	3	110	130	170
4 菊 池	52	79	131	0	2	4	4	50	65	115
5 健 軍	84	153	237	136	7	0	2	65	90	90
6 崎 津	80	101	181	10	1	0	1	30	70	85
7 島 崎	120	194	314	0	6	2	0	100	140	210
8 玉 名	52	62	114	0	0	0	1	30	50	90
9 手 取	357	639	996	8	33	6	27	250	380	430
10 人 吉	64	95	159	0	3	0	0	60	120	150
11 本 渡	37	69	106	56	2	0	2	20	30	40
12 水 俣	31	45	76	0	2	0	0	20	30	40
13 武蔵ヶ丘	145	253	398	15	10	3	3	200	200	290
14 八 代	41	80	121	8	8	1	1	70	100	200
熊本県合計	1,311	2,157	3,468	276	81	17	45	1,090	1,585	2,127
教区総計	12,270	16,805	29,075	3,290	340	100	145	7,244	11,503	15,512

「教区の日」報告書より① 福岡地区
南粕屋教会 いづくしみの体験

「教区の日2017」のミサの中で奉納された「小教区信仰活動報告書」。各地区1つの教会の報告を要約して紹

介していきたい。今回は福岡地区、吉塚小教区の巡回教会である南粕屋教会の取組み。

南粕屋教会は福岡県糟屋郡志免町に位置する巡回教会。70世帯179人が信徒名簿に登録されている。信徒の高齢化、壮年層・青年層の教会離れ、外国人信徒の増加への対応が課題として挙げられている。

教区目標「いづくしみから踏み出す第一歩」に沿って、3つの目標を設定。①ミサ聖祭、ゆるしの秘跡、病者の塗油を通していづくしみを記念し体験し、実現するように。②聖書を通して具体的にいづくしみに出会い、触れ、身近

なものにするように。③助けを必要としている人々に寄り添うことによって、いづくしみを豊かに体験し続けるように。これらの目標を軸に、病者訪問、家庭訪問、勉強会、地区懇談会、青年部復活などの活動に取り組んだ。

秘跡について③
愛の秘跡―「信仰の神秘」

私はミサの中心部分である聖体祭儀（聖変化）が終り、神父様の「信仰の神秘」という言葉を聞く度に不思議な感動を覚えます。以前、ラテン語で捧げられるミサに与っていた頃は耳にしなかった言葉だと思いましたが、聖体祭儀（聖変化）を締めくくるふさわしい表現だな、とつくづく思います。三位一体なる神、受肉（托身）の教義も信仰によってのみ近づくことのできる真理ですが、聖体の秘跡は手で触れ、舌で味わえるほど身近でありながら、その真理に近づこうとすると、文字通りそ

の輝きに目がくらみ、打ち倒されてしまいます。これこそ「信仰の神秘」だと思っています。私は『カトリック教会のカテキズム』が「キリスト信者の全生命の泉であり頂点」（二二四）であると強調している聖体の秘跡について解説する資格など全くありません。しかし、哲学を学んだおかげで、私たちの目の前でひそやかな仕方で行われるこの秘跡が、実は、「在れ」という言葉によって万物を無から呼び出した創造の業にも比すべき超自然的な出来事であることを信仰によって肯定するの

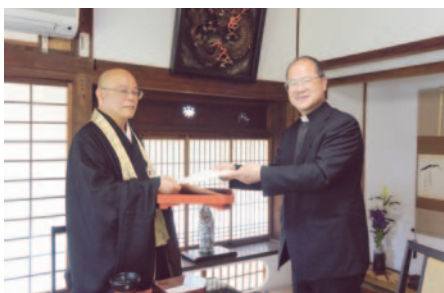
でなければ、この秘跡について何も知っていることにはならない、という確信は持っています。また、トマス・アクィナスの『神学大全 第三部「キリスト・秘跡論」を訳したおかげで、この秘跡において起こっていることがそのように驚嘆すべき不思議な変化であることを信仰の光によって悟ったとしても、この秘跡が「愛の秘跡」であることを信仰によって受け止めるのでなければ、この秘跡の真実に触れたことにはならない、という信仰の神秘が心に刻みつけられました。「愛の秘跡」と呼ばれるのは、他の秘跡では目に見える徴を通じてキリスト自身が秘跡を受ける者の霊

魂に内的に触れ、聖化してくださいますが、聖体の秘跡においては、そのような内的な働きかけにとどまらず、キリストが（パンとぶどう酒という目に見える形態によって）文字通り、自分自身をお与えになるからです。キリストは「友のために命を捨てて自分自身を与える―これにまさる大きな愛はない」と言われましたが、聖体の秘跡ではまさにその通りのことを行っておられるのであり、このようにみずからを惜しみなく与え尽くすキリストの愛―神は愛であると言われるその愛―に触れることが聖体の秘跡の理解において最も大切なことであると思います。

ここでは聖体の神学の古賀教会信徒 稲垣良典

毎年4月8日、釈迦の誕生を祝う灌仏会（かんぶつえ／花まつり）に教皇庁諸宗教対話評議会は日本の仏教徒へのメッセージを発表している。今年は「天然資源の危機に直面して―節制と分かち合いに基づく生活に向けて協力する仏教徒とキリスト者」と題し、現代社会の正義と平和の問題に対し、「節制を重視する生活様式と、愛と共感のもとに分かち合う姿勢を促す」宗教の役割を共に果たしたいと述べる。（メッセージの全文はカトリック中央協議会のホームページに掲載）

このメッセージを仏教関係者に届けるため、宮原良治司教は4月3日、臨済宗妙心寺派の聖福寺（福岡市博多区）を訪問。福岡市仏教会会長の細川住職（左）にメッセージを渡す宮原司教（右）



細川住職（左）にメッセージを渡す宮原司教（右）

諸宗教対話部門 寺院表敬訪問
節制と分かち合いに基づく生活

細川白峰住職と2人の住職が宮原司教を迎え、日本人の宗教観等について話を交した。

教区立幼稚園辞令交付式と新任研修会
新しい一歩

3月30日（金）、大名町教会会議室で福岡教区立幼稚園辞令交付式と新任研修会が行われた。始めに、宗教法人カトリック福岡教区幼稚園の理事長である宮原良治司教による「みことばの祭儀」があった。続いて辞令交付式があり、新任10人と新園長・新副園長6人が司教より辞令を手渡された。新任教諭の代表者は、「カトリック幼稚園で働けることを誇りに思います。キリスト教の精神を培い、子ども達の成長に寄与して参ります」と力強く誓いの言葉を述べた。

次に、宮原司教による講話があった。題は「キリスト教精神で働く人の心構え」。司教は、「神の愛を伝えることが教職員の一つの任務である。教職員は幼児一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づけるよう支えてもらいたい。また、幼児期は人格性形成上、土台とするための大切な時。奉仕者として相応しく関わっていくように」と論じた。昼食を挟んで第2講話は水巻聖母幼稚園から4人の教諭が受け持った。桑田麻衣子副園長は幼児教育に携わることの重要性と責務を述べ、「経験を積むこと。園の仕事を楽しみながら、よりよい環境作りに力を注ぐようにすること。明るく元気に振舞うこと」などを語った。最後は、教区事務局主管の青木悟神父が「宗教法人の就業規則」を説明して締めくくった。



【月例黙想会】
期 日：①5月12日(土)17時～13日(日)15時
②6月 9日(土)17時～10日(日)15時
指導者：染野治雄 神父(御受難修道会)
費 用：8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで
◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

【奉獻生活者のための黙想会】
①5月19日(土)夕～26日(土)朝
②6月23日(土)夕～30日(土)朝
③7月21日(土)夕～28日(土)朝
指導：①②来住英俊神父 ③染野治雄神父
費用：5,600円

PRAYER GROVE
MUNAKATA

ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

「若者、信仰、そして召命の識別」① 皆さんの声を聴かせてください

＜コラムについて＞

2018年10月、第15回世界代表司教会議（シノドス）が「若者、信仰、そして召命の識別」というテーマで開催される。2017年5月25日付で「準備文書」が発表された。今年3月19日～24日には世界からおよそ300人の若者たちの参加のもと、準備会議がローマで開かれた。インターネットメディア、SNSを利用した若者へのアンケートや情報発信など、教会は若者の声を中心に、シノドスを進めようとしている。本コラムではシノドスのテーマに沿って、若者の声や、シノドス関連の文書の内容を紹介していきたい。シノドス事務局ウェブサイト <http://www.synod2018.va/content/synod2018/en.html>

先日、青年の集りで「今、復活したイエスに出会ったら、何を聞きたい？何をしたい？」をテーマに分ち合った。ある社会人青年は「イエスは酒飲みだったと聞いているので、お酒をイエスに飲ませて、酔わせて、地上での生活で実はここが大変だった～、みたいな苦労話を聞きたい。語り合いたい」と。青年女子からは「ただ、ギュッとハグしてほしい」との答えも。別の折、ある青年は言った。「教会に行ったら、日常のことや将来のことを聞いてくる（尋ねる）大人はいるけど、私のことを聴いてもらえる感じがしない。」

青年は語り合うことのできる場、耳を傾けてくれる同伴者、存在を受容・肯定してくれる環境を求めているようだ。シノドス準備文書の発表の際に、教皇フランシスコは「若者への手紙」を記した。教皇は次のように述べる。「教会もまた、皆さんの声、感受性、信仰、そして皆さんの疑いや批判に耳を傾けたいと望んでいます。皆さんの声を聴かせてください。その声を、共同体の中で響きわたらせ、司牧者たちに聴かせてください。」「兄弟である司教の皆さんとわたしは、さらにいっそう『あなたがたの喜びのために協力し』（2コリント1・24）たいと望んでいます。」



「カルトの動きは、福岡県内の大学キャンパスや教会でも多く検知され、とても身近な存在です」と講師の岩崎一宏牧師（日本バプテスト連盟枝光キリスト教会）は語る。4月22日（日）、大名町教会にて講演会「カルト『新天地』について―カルト宗教の現状と課題について―」が教区宣教委エキムニズム部主催で行われ、約100人が参加した。岩崎牧師はカルトの被害者の救済やカルト問題についての啓発活動を25年ほど前から行っている。

岩崎牧師は、カルトは異端問題ではなく「法律上、社会秩序上、人権上、明らかな逸脱がある団体」であると述べ、宗教カルトによるマインド・コントロール、詐欺的・強迫的勧誘と教化、信者への性的・精神的虐待等の問題を指摘。被害者が加害者となっていく問題の複雑さもある。キリスト教系カルトの「摂理」「世界平和家庭連合（旧統一教会）」「新天地」等を例に挙げ、活動の実態と被害の状況を説明した。平和運動家を名乗って巧みに教会に入り込む事例も紹介された。

一方、寂しさや不安を抱えた若者や高齢者がカルトの被害者になることが多いとし、「教会や寺は何をしていいのか」と既存の宗教、信仰者が自らのあり方を問う必要があるのではないかと語った。更に「自分たちこそが正しい」「救い、滅びか、というような二元論的宣教」等の姿勢は「教会のカルト化」につながることも指摘した。

カルトを予防するには、カルトを知ることが大切だと語る。そして、カルト問題に対応し、被害者を救済するためには、教派・宗派を超えた連携、弁護士・精神科医・臨床心理士などの専門家を交えたネットワーク作りが課題だという。



「カルトはあなたのすぐ側に」講演会の様子

教区宣教委エキムニズム部 講演会 カルト宗教の実態と教会の課題

第35回福岡地区カトリック女性の会総会 「絆」～主よ、私たちにできることは？～

4月21日（土）、大名町教会において第35回福岡地区カトリック女性の会総会が124人の参加者で開催された。担当司祭サトル・ノ・オチヨア神父（イエズス会）と川原圭子会長（笹丘教会）の挨拶から総会は始まった。

大山美穂子議長（浄水通教会）のもとで審議された2017年度の活動報告等4議案はすべて承認された。各種報告では①ボランティア・モニカ（栄光病院、篠栗荘、富の里における奉仕活動）、②日本カトリック女性団体連盟、③福島家族支援実行委員会など、それぞれのグループから実りある活動報告があり、活動への参加、祈りの支え、支援金協力等の呼びかけがあった。

昼食を囲んだ談笑の後、平野哲也神父（聖アウグスチノ修道会）より「恵みを生きていく」と題した講演があった。私たちの存在は恵みに満ちており、恵みを生きていくことが、ありがとうを生きていくこと、それがとうで私たちが繋がっていくということが、聖書のミサと経験にもとづくエピソードを交えて語られた。平野神父の講演を通して、「私たちにできることは？」を2018年度の活動テーマとする女性の会への示唆のみならず、私たちの生き方そのものの手がかりを得た。

最後に宮原良治司教司式のミサが行われ、いただいた恵に感謝してそれぞれの活動や生活の場へと送り出された。（報告＝古賀教会 後藤田遊子）

への警戒心の狭間で戸惑う声があがった。岩崎牧師は「二個人として、どんな人とも良い関わりを保つことは大切だ」と思いを述べ、ただし、組織として『カルトは容認できない』と明確に対応することが肝要です」と述べた。

「行く末を主に委ね、主に寄り頼め」（詩編37・5）という聖句をもって司祭に叙階され、今村・本郷教会の協働司祭として任命され、司祭生活を通して早や一年が経ちました。主任司祭の竹森神父様の温かいご指導を通して、これまでの歩みを顧みたり、一番深く感じたのは、「司祭として生きていくことがどれほど幸せか」ということでした。それは、神聖な祭儀であるミサを執り行うことができ、祈りを祈ります。

跡を通じて信仰を持つ者と慈しみ深い神様との霊的な関係をつなぐ仲介者の役割をするなど、司祭としての役割を忠実に果たすことが神様から頂いた恵みであったと思うからです。また、様々な人に近寄り、愛の恵みを施してくださったイエス様の模範的な姿を見倣い、今村教会の周りにある特養、養護、グループホーム、そして、保育園などの施設を訪問して歌の交流会、面会、話し合いなどを通して、それなりにイエス様の慈しみと愛を伝えるために最善を尽くした一年だったと思います。初心を忘れずに、神様にすべてを委ねて温かい気持ちで司祭の道を歩んでいきたいと願っています。これからも足りない私のために祈りをお願いします。

司祭の生き方に対する幸せ
福岡教区司祭 金貞根

2018年度 福岡コレジオ入学式 キリストを知り、生きる



福岡コレジオの聖堂で行われた入学式

4月7日（土）、福岡コレジオ（カトリック長崎教会管区司祭志願院）にて、入学式が行われた。院長の森山信三神父（福岡教区）と副院長のS・オチヨア神父（イエズス会）、コレジオで奉仕するお告げのマリア修道会の3人のシスターに見守られ、新入生と在校生がそれぞれ司祭志願

者として歩むことを誓った。森山神父は「キリストの弟子として、キリストを良く知り、生きてください」と語り、学びと体験、共同生活の大切さを学生に伝えた。

在校生代表は「神が見えなくなっても、神はいつもそこにいます。共に支えながらコレジオ生活を送りましょう」と新入生を歓迎した。

今年度の福岡コレジオ在籍者は以下の8人。（内は教区名と学年。吉浦勲（福岡・大学4年）、窄口歩（長崎・大学4年）、池田悠輝（長崎・大学4年）、吉原祐則（長崎・専門学校2年）、萩原篤志（福岡短大1年）、森翔真（長崎・大学1年）、廣田学（長崎・キム・ゴン（大分・日本語学校）。

☆使徒言行録を読む
京都司教区聖書委員会編

エルサレムでの初代教会、ペトロやパウロの宣教を通して使徒言行録の主人公が聖霊であるという事を明らかにしていく。使徒言行録を深めるための必携の講話集。

サンパウロ発行
税込価格1512円

長崎の潜伏キリシタンは明治以後をどのように生き、信仰を深めたのか。開拓移住地に教会を設立した集落や地区の信徒の思い、外部社会の信仰の制度化への関与、移住地の都市化に伴う信徒層の分節化と新たな教会の派生などの状況を、社会学の視点から解明しようとする。本書を通して、日本でのカトリック・コミュニティの形成と変容を紐解くことにより、現代社会での信仰共同体の構築に示唆が与えられるかも知れない。

九州大学出版会発行
価格3800円＋税

◇◇◇



☆「山の教会」「海の教会」の誕生 ―長崎カトリック信徒の移住とコミュニティ形成―
叶堂隆三 著



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.iruka-japan.com/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:<http://www.pauline.or.jp>

5 月のこよみ

営業時間：
平日 10:00~18:00
定休日：日曜日、祝祭日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp